

一笑軒といふ人の作首に別口那彦享保年中田
子梅隱言地の在りて序文を加へる超福田
孝山跋文を依りて墓子の爲に板石を山
王二十一社を以て法は附を其を見れば
史に見ざる人より神仏の差別を去るす
歟と歎事之悉編するに及ばず書を見て
是非を知る

一玉分寺薬師

山形の間越東の方にあり佛系系三百二
十石列南を玉分山柏山寺と稱す玉分寺

は薬師を安置する事該寺通例に柏山寺
はあふまふ二つの本寺なり神前に奉納する
事一年にあたり大平記評判十に之を
曰往昔に千五代帝難ハ律宗を尊ぶ
て一玉は一寺の玉分寺を立ぬい一とを
義光物語に柏山寺薬師堂天台一家の僧
侶一萬石の誦經あり儀式蕩々魏々なり
是ハ先年烟屋工山長谷堂庄月を介す
まて所記しるもの此寺と喚び一と
あり